

内閣総理大臣杯第50回日本社会人ゴルフ選手権関西予選

第42回関西社会人ゴルフ選手権予選

【と き】2019年8月5日（月）

【ところ】六甲国際ゴルフ倶楽部・東

＜主催＞スポーツニッポン新聞社

＜後援＞関西ゴルフ連盟、毎日新聞社

＜協賛＞アサヒビール、住友ゴム工業

ローカルルール

1. アウトオブバウンズは白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。
2. 修理地は青杭もしくは白線によってその縁を定める。
3. イエローペナルティーエリアは黄杭または黄線によってその縁を定める。レッドペナルティーエリアは赤杭または赤線によってその縁を定める。いずれも線と杭が併用されている場合は、線がその縁を定める。
4. ジェネラルエリアにある排水溝はジェネラルエリアにある動かさない障害物とする。
5. 電磁誘導カート用の2本のレールは、その2本のレールの全幅をもって1つのカート道路とみなす。球がこのカート道路の上に止まっているか、又はスタンスがかかる場合はホールに近づかず、ニアレストポイントから1クラブレンジ以内に無罰でドロップしなければならない。
6. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
7. 規則 10. 3a は次のように修正される：プレーヤーはラウンド中に委員会によって指定された者以外をキャディーとして使ってはならない。
ローカルルールの違反の罰；
 - ・そのプレーヤーはそうしたキャディーに援助してもらった各ホールに対して一般の罰を受ける。
 - ・違反がホールとホールの間で起きたり、ホールとホールの間まで続く場合、プレーヤーは次のホールで一般の罰を受ける。
8. 規則 5. 5b は次のように修正される：2つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない：
 - ・終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。または、
 - ・終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストする。
9. 規則 5. 2b は次のように修正される：プレーヤーはラウンド前にコース上で練習してはならない。
10. 危険な状況のためのプレーの中断は、1回の長いサイレンによって伝えられる。その他すべての中断は、短いサイレンの繰り返しによって伝えられる。どちらの場合も、プレーの再開は1回の長いサイレンによって伝えられる。（規則 5. 7b 参照）

注意事項

1. 練習は指定練習場で行い、打球練習場では備え付けの球を使用し、スタート前の練習は1人1箱（30球）を限度とする。
2. ラウンド中、競技者は部外者を近づけないよう十分、留意すること。なお、部外者のコース内立ち入りは禁止する。
3. 委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断した競技者の参加資格を取り消すことができる。

競技委員長